

問1 ジェンダーロールとはどんなこと？どんな場面？

<学校>

- ・出席番号が男女別である。
- ・制服：男子はズボン、女子はスカート
- ・男子は更衣室がない。
- ・学校行事に参加するのは女性が多い。
- ・男子は実習の受け入れが少ない。
- ・長距離走の距離の違い。男子 1500m、女子 1000m
- ・水泳の水着で男子は上を着れないから皮膚トラブルになりそう。
- ・男子は組体操、女子はダンス
- ・野球、サッカー部は基本的に男子、吹奏楽は女子
- ・男子の方が女子より体育のレベルが高い。

<家庭>

- ・女性は家事・育児、男性は仕事。自治体の活動は男性
- ・家事をすると男性は褒められるが女性は何も言われない。
- ・男性は、女性に食事をおごるのが当たり前と言われる。
- ・女性が料理は当たり前
- ・男性は仕事が休みのとき「疲れているから」と言って家事を手伝わない。
- ・ドライブに行くとき、運転は男性、女性は助手席に座っている。
- ・男性より女性の方が権力が大きい。

<仕事>

- ・女性しかできない職業がある。（助産師）
- ・男性は管理職、女性は事務職
- ・共働きでも女性は正社員になれないことが多い。
- ・リーダーになる人は男性が多い。
- ・政治家は男性が多い。
- ・女性は仕事復帰しづらい。
- ・力仕事は男性、繊細なことを女性
- ・男性は仕事の負担が大きい、女性は家事・育児の負担が大きい。
- ・男性が泣いたら女々しいと思われることがあるからストレスがたまりそう。
- ・職業によっては男性・女性で優遇される仕事がある。

問2 なぜこんな現状が今も残っているのか？

- ・古い文化が今も残っている。
- ・学校行事が平日に行われる場合、男性は基本的に仕事に出ていて、女性は専業主婦で休みを取れることがあるから。
- ・漫画などでも男女別のことが多い。
- ・同調圧力にやられた。
- ・幼少期から男らしく・女らしくと言われる。
- ・何かするごとに女性を強調したがる傾向にある。
- ・国会議員は男性の方が多い。
- ・議員のスキャンダル。(女性国会議員のフランス訪問の件)
- ・これでうまくやってきたから。
- ・現状維持をする。
- ・文化
- ・家庭でのイメージとして、男性は仕事、女性は家事・育児という考えが強い。
- ・男性にドライブのときは運転してほしい。
- ・親が固定的な概念があった、それを見てるから。大人からの教え
- ・育メンという言葉があるから。
- ・性で魅せるため(魅せれるものが違う)。
- ・身体機能の違い
- ・女性より男性の方が使いやすい(女性は出産や育児で離職する人が多いため)。

問3 ジェンダーロール解消のためにあなたができることは？

- ・育児講習会に積極的に参加する。
- ・料理の練習をする。
- ・不平等な場面にあったときに発言できるようになる。
- ・男女の意見をきちんと聞いて受け入れる。
- ・個性を認める。
- ・選挙に行く。
- ・ジェンダーロールに関する認識を持たない。男性だから、女性だからという意識をなくす。
男性は○○、女性は○○と性別のことを言わないようにする。
- ・みんなが一度、一人暮らしをする。
- ・自分のできること、相手のできることをあげていく。
- ・得意分野をそれぞれやって、苦手分野を補う。助け合うことが大事
- ・男女関係なくその人の個性を尊重したい。
- ・アメリカの自由をマネる。

- ・育児など小さなことから参加する。
- ・性についての考え方を改める（固定概念にとらわれない）。

問4 あなたは今後どうしていききたいか？

- ・ジェンダーロールについての理解を深める。
- ・男性・女性のあるべき姿などの概念を少なくする。
- ・結婚したら家事を同じ量とする。
- ・相手を重んじる関わり
- ・人間として接する。
- ・「ありがとう」「ごめんね」を言う。
- ・性別関係なく協力していききたい。互いの個性を大切にしたい。
- ・パートナーと家庭役割について相談してみる。

ワールドカフェ（高校生）R5.9.1（金）午後1時20分～ 鹿本商工にて

問1 ジェンダーロールとはどんなこと？どんな場面？

<学校>

- ・工業系の学科は男性が向いている。女子は商業科、男は工業科
- ・力仕事を男子に任せられる。男は力仕事、女は細かい作業
- ・男は字が汚く、女は字がきれいというイメージ
- ・女子力
- ・学校生活での髪型。男は短く切る。
- ・制服の決まり。男はズボンなど
- ・女子にやさしい先生がいる。体育の先生

<家庭>

- ・おばあちゃんが妹に「女子なんだから家事を手伝いなさい。」と言っていた。
- ・「男ならば強くあるべき」という固定観念
- ・男は年取、女は顔
- ・髪が短いと男性みたいと言われる。
- ・男性は化粧しない、女性は化粧する。
- ・子どもの世話や家事は女性がしている。
- ・荷物を持つのは男
- ・山鹿灯ろうで踊ることができるのは女性だけ
- ・祭りで白龍をかつぐのは男性だけ
- ・相撲は男性だけ

<仕事>

- ・体を使う仕事は男、事務的な体に負担のかからない仕事は女に任せられるイメージ。男性は力仕事、女性は事務仕事
- ・男は親の仕事を経く。
- ・工業系の仕事は男性が向いている。
- ・性別で仕事が決まる。看護師など
- ・女だからといって体力を使う仕事はさせてもらえない。

問2 なぜこんな現状が今も残っているのか？

- ・国のトップが動かないから。政治が動かない。
- ・政治的に男性が強くて女性が発言しにくいから。女性の政治家が少ない。
- ・知らない。
- ・片方の意見しか聞かない。
- ・古い偏見を持っている人がまだいる。
- ・関心がない→調べない→現状を知らない。
- ・見た目で決める。
- ・昔からの教え。昔からの名残。古い教えの人が多。昔ながらの考えがあるから。
- ・特定の地域だけの決まり
- ・反対の意見を持つ。
- ・体的に仕方ないところ
- ・年配の方とか「自分たちが若いときはこうだったからそうするべきだ」という意見があるから。
- ・自分の意見を伝える勇気などありません。
- ・現状を変えようと活動している人が少ない。
- ・1人が変わっても2人目が変わらないから。
- ・世の中の目が変わらない。
- ・思っているも誰も声をあげないから。
- ・男の方が昇進したいという気持ちが強いから。

問3 ジェンダーロール解消のためにあなたができることは？

- ・学校などで話し合う時間を設ける。
- ・新しい意見（考え）をいろんな方法で知らせていく。
- ・家事等は話し合う。家事は2人で
- ・「なぜ男女で限定するのか」を聞き、明確にする。
- ・あきらめずに考える。
- ・色んな意見を聞く。

- ・男女を気にしない。男だから、女だからをなくす。
- ・選挙に参加して意見を広める。
- ・相手の個性を尊重する。個性を認める。
- ・注意する。
- ・イクメン男性になる。
- ・自分らしく

問4 あなたは今後どうしていきたいか？

- ・LGBTQを広めて知ってもらおう。
- ・ジェンダーロール解消の活動を増やす。
- ・正しい情報を広め多様化の社会を認め合う。